

GO GREEN 緑でいこう

地球ひとつで生きる



5/8 東京都杉並区議選で当選したブランシャール明日香さん(公認)が、支援者に見送られ初登庁



7/13 日本政府に対し、東京電力福島第一原発から太平洋への処理汚染水放出計画中止を要請



7/26 尾形慶子共同代表が訪韓、韓国緑の党と共に日本大使館前で処理汚染水放出計画へ抗議

世界の仲間が大集合！ 緑の党世界大会 in 韓国

6月8日から11日の日程で、韓国の仁川にて第5回グローバル・グリーンズ(以下GG)大会が開催されました。新型コロナウイルスにより1年延期の6年振りの開催となり、世界84カ国から約700人の緑の党会員や緑の議員が集まり、日本派遣団も36人と過去最多人数での参加となりました。



強力かつ迅速な行動を—「韓国宣言」

今回のGG大会では、より一層深刻となる気候変動問題や新たな感染症拡大、紛争や人権侵害、社会正義と民主主義への攻撃、環境や生物多様性の危機など、私たちが直面する多くの課題に対し、国境を超えた世界の緑の仲間たちの連帯によって「強力かつ迅速に行動しなければならぬ」とする「韓国宣言」を合意しました。

この宣言は、①気候 ②生物多様性 ③社会正義 ④平和と安全保障 ⑤民主主義 に関し、26項目にわたる具体的な課題を示し、世界の緑の党の共通の強いビジョンと熱意、国際的連携・連帯によって、現在と未来を変えていくための新たな指針と責任を明確に示したものです。大会の熱気と息吹も感じられるものともなっています。ぜひ全文をご一読ください。

→緑の党HP <https://greens.gr.jp/notice/world-news/34247/>



初日の夜に、GJ独自企画「太陽の蓋」上映会を開催し、満席になるほどの盛況振りでした。プロデューサー・橋民義氏の解説もあり、参加者からは「なぜ東電は政府に事実を隠したのか」などの質問が飛び交いました。

日本の企画は大盛況

GJ企画として、7日に韓国のオーガニック給食の視察が行われ、京畿道での取り組みについて行政職員や農家さんからお話を伺い、有機野菜の配送センターや小学校を見学しました。手厚くもてなしていただき、活発な意見交換ができました。

独自の若者助成制度

グリーンズジャパン(以下GJ)では、若者助成制度(39歳以下の参加者に10万円の助成)を用意し、12人の若者がその制度を利用し参加しました。さらに、今大会からオンライン参加できるアプリも導入され、日本に居ながら発言する参加者もいました。

今回のGG大会では、より一層深刻となる気候変動問題や新たな感染症拡大、紛争や人権侵害、社会正義と民主主義への攻撃、環境や生物多様性の危機など、私たちが直面する多くの課題に対し、国境を超えた世界の緑の仲間たちの連帯によって「強力かつ迅速に行動しなければならぬ」とする「韓国宣言」を合意しました。



高橋裕也(派遣団共同団長・写真右)

集合写真の撮影時には「What you want? Climate justice. When do you want it? Now!」とみんなでコールし、一体感が生まれました。GG大会は世界中から幅広い年齢と多様な背景を持ったグリーンズが集まり、顔を合わせて交流し、議論できることが醍醐味であり、楽しく刺激的に感じます。次回は5年後、アメリカ大陸で開催予定です。一人でも多くの方と現地参加できることを楽しみにしています。

次回は5年後、アメリカ大陸で!

一方で私たちは、韓国緑の党と現地ミーティングを行い、汚染水の海洋放出に対して共通認識を持ち、これからは日韓連帯し反対運動を盛り上げていくことを確認しました。今大会では、GJとしてオンサイト2人、オンライン2人、計4人体制での同時通訳をつけました。内容を理解することが容易で、その場での議論や質問も行いやすく、とても助かりました。

あり、十分な議論ができず残念でした。しかし足立力也さんが生物回廊のセッションを行なったたり、寺前南さんがパネリストとして参加するなど、GJからのアピールができたと考えています。

二日目の夜はファミリーディナー(交流会)が開催され、各国のメンバーが自国の踊りや歌を披露しました。GJメンバーは浴衣姿で「スキヤキ」の愛称で有名な「上を向いて歩こう」を歌い、会場を盛り上げました。

分科会 原発は答えではない グローバル・グリーンズは “処理汚染水放出” 反対を決議



6月10日、日本・オーストラリア・韓国・ベルギーの緑の党が脱原発の分科会を開きました。今回は特に、福島から放出されようとしている汚染水について焦点を当てました。

GJの会員発プロジェクト「311を忘れない」共同代表の小笠原学さんの報告を尾形が発表。事故当時と現在の福島の汚染、子どもたちの甲状腺ガン、日本政府の乏しい支援を説明したあと、汚染水放出計画を批判しました。ALPSが放射性物質を十分に処理できないこと、「国際基準」1500 Bq/Lが安全を保障しないこと、陸上保管の提案を説明しました。

韓国緑の党は、国民の85%が反対していること、廃棄物の海洋投棄の前例を作ってはならないと訴え、ファーストネーション・ネットワークが、原住民の「ウランの土地に踏みこむな」という古い教えを共有。ベルギーの連邦議員は、原発推進に傾斜するヨーロッパの現状を報告。太平洋諸国を支援するメンバーは、原水爆実験の犠牲になった人々の強い怒りを訴えました。

翌日、処理汚染水放出に反対するGG決議が採択されました。大会終了後、日韓緑の党は共同声明を発表し、運動をアジア・太平洋さらに世界に広げました。GJは政府・東京電力に申入れ、海の日(7/17)アクションを全国で取り組みました。

尾形慶子(派遣団共同団長・共同代表)





プレ企画でオーガニック給食ツアー



韓国北部の京畿道(人口約1350万)エコ農産流通センターに到着後、社員食堂でオーガニックの昼食をいただきました。トマトなど野菜

が美味しかったです。その後、関係者からお話を聞きました。2002年から始まった学校給食運動は ①韓国産の安全な農産物を使う ②学校の調理方式を民間委託から直営に戻す ③給食は普遍的福祉であることから無償化にすべき、の3点を要求しました。その時のスローガンは、「子供には健康を、農民には希望を」。市民運動の結果、オーガニック給食は小中高校数の70%が実施、調理方式は98%が直営、給食は無償になりました。

流通センターには、14℃に保たれている広い倉庫があります。毎日午後には農産物が到着し、学校ごと自治体ごとに分類し、夜中に各自治体に大型トラックで配送します。規模の大きさに驚きました。

京畿道で満足度1位の小学校の調理室を見学し、主に安全管理についてお聞きしました。実りの多いオーガニック給食ツアーでした。

伊形順子(神奈川県本部運営委員)

ローカルとグローバルをグリーンにつなぐ



どの国においても、国立公園などの自然保護区は、人間の活動領域の中で分断・孤立している。それをつなげる「生物回廊」が、生物多様性の

保全には欠かせない。

私が代表を務める一般社団法人コスタリカ社会科学研究所では、コスタリカ・トルトゥゲー国立公園の隣接地に「なまけもの通りみち」という生物回廊農園をつくっている(詳細はウェブ検索)。昨年未締結された昆明・モントリオール生物多様性枠組は、2030年までに自然保護区+「それ以外の生物多様性保護区(OECM)」を各国領域の30%以上設定するよう求めている。生物回廊はOECMの一種だ。

私は今回のGGで、「生物回廊で世界中をつなぎ、地図上で可視化させること」をグリーンズの世界共通政策とする試みに挑戦した。独自に決議案を提出し、ワークショップも開催。参加者の腕に動物のヘナタトゥー(写真)を刻み、つなぎ合わせて「人間生物回廊」を作った。結果、決議案は他の案と合併されつつも、生物回廊の世界的創設と地図化が決められた。ローカルとグローバルをグリーンにつなぐ。それができるのが、GGだ。

足立力也(アジア太平洋緑の党連盟運営委員)

ヤンググリーンズ YGJ



今回韓国で開催されたGGの世界大会に初めて参加しました。ヤンググリーンズジャパン(以下YGJ)の共同代表として、ヤンググリーンズ(以下YG)の国際的な活動を学び、その知識を日本での活動に活かす目的で参加しました。

一連のセッションやワークショップでは、グリーンズの政治を実現するための具体的な行動や技術的な知識について学ぶことができました。また、世界のYGメンバーと対面で交流できたことは特に感慨深かったです。

大会後も、海外の若手のYGメンバーとの交流が続いています。また、日本からも緑の党外の環境活動家らが参加し、そのつながりが今後のYGJの活動拡大にとって重要なステップになると考えています。

GG大会で、世界のグリーンズたちが一同に会す姿を目の当たりにすることで、個々の活動が集まって大きな力となり、グローバルレベルで政治的意思決定や環境保護活動などに影響を及ぼすことができるという事実を改めて実感することができました。

野中康生(YGJ)

エコサイド ～環境破壊罪～



エコサイドとは、「エコ」+「ジェノサイド(大量虐殺)」の造語。「深刻で広範にわたり、長期的な環境破壊に対して、国際的な犯罪として認定して処罰する」という新しい法的枠組みのこと。

セッションでは、2017年「Stop Ecocide International」共同創設者のジョジョ・メサ氏をはじめ、韓国、ベネズエラ、スペインの活動家、EU議会議員、ベルギー国会議員による発表が行われ、ラオスの灌漑ダムの決壊、ウクライナ戦争によるダム決壊、アマゾンの自然破壊の事例、ベルギーやEU議会でのエコサイドの決議などの情勢が示された。環境破壊への歯止めを目的とし、キャンペーンは欧州を中心に世界へ波及し始めている。

エコサイドが国際的な犯罪となれば、企業トップや国家の関係者個人が裁かれ、責任を負うことになり「環境破壊の抑止力」になる。日本国内へも広めたい

草島進一(山形県会員・鶴岡市議)

女性ネットワークのティーパーティー



最も印象に残ったのは、イギリスの元国会議員の話です。議員当時、有名なTV番組に他党の男性議員3人とゲスト出演した時のこと。テーマは「なぜ若い女性の投票率は低いのか」。自分が語るにふさわしい、と思っていたのに、司会は年長の男性議員に順番に話を聞き、彼女は一言も発言させてもらえないまま、番組は終わってしまったそうです。私も含め、聞いていた多くの人が、「何それ?!」と声を出してしまいました。

もう一点、彼女の話で印象深かったのは、女性同士で助け合う方法です。男性多数の会議中に女性が発言しても無視されることが多いので、スマホで女性のチャットグループを作り、「これから発言するからサポートしてね」とメッセージを送ってから発言するようにしているとのこと。そうすると、女性の誰かがすぐさま、「今の彼女のアイデアはとても良いと思います。」と反応し、女性の意見が黙殺されないようにしているそうです。逆境に負けられないしなやかな強さに感じ入りました。

熊野里砂(東京都本部運営委員)



日本はジェンダー平等の後進国だと実感しました。また、一部の女性が男性と同等の権利を持てるのが男女平等ではなく、脆弱な立場にいる人の権利向上に寄与するかどうか、そのレンズを持ちたいです。

能條桃子さん・神奈川県



GG世界大会では、GGの民主主義に関心を持ち、また初参加ながらワールドカフェの準備に関わり、様々な国やバックグラウンドの方が来られ、完璧な英語を話すことができない中、どのようにワールドカフェの内容を伝えるか、とても学びになりました。

坂口潤志さん・福岡県

9.18 気候アクション

国連総会に合わせて世界中でアクションが企画されており、東京では9月18日に計画されています。気候災害が多発する今、気候危機対策の強化を求め、共に行動しましょう!各地のアクションは、緑の党HPに掲載予定



自治体選挙

8/6	福島県郡山市議選	ふるやま ゆい	新	非	推薦	当選
8/27	千葉県八街市議選	木村由希子	現	サ	推薦	

新:新人 現:現職 / サ:サポーター 非:非会員

緑の党 <https://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒165-0026
東京都中野区新井2-7-10サンファスト301
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3389-0636

会員・サポーター募集しています

カンパにご協力をお願いします

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュウ) 口座番号:262967

世界のみどり 緑の党は世界の100以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ(GG)というネットワークをつくっています。

6/22 韓国緑の党共同代表キム・チャンヒ氏から汚染水問題・気候正義などへの連帯メッセージが届いた。7/23 アメリカ緑の党が汚染水放出反対の声明を発表し、東京電力とIAEAに対し、国民の信頼を得るよう求めた。

福島からの汚染水放出に反対する、世界の連帯が広がっている(オーストラリア、アメリカ、キプロス、エジプト、チュニジア、アルジェリアの緑の党、グローバル・グリーンズ、アジア太平洋緑の党連盟、日韓の緑の党)。



運営委員会より 5～8月に発表した主な声明・談話

●ホームページで内容をご覧ください

5/31	【声明】女川原発運転差し止めを棄却した仙台地裁判決
6/6	【声明】国際潮流に反する入管法「改正」案一気候難民が急増する時代を前に
6/29	【日韓共同声明】福島第一原子力発電所から太平洋への処理汚染水放出の計画の中止を求めます
8/8	【談話】「広島ビジョン」後初の平和式典ー日本政府は被爆者・市民の願いに向き合え
8/15	【談話】戦後78年ー非戦と非暴力の世界の実現に向けて